

アジャイルエンジニアのスキル認定を目指し、「アジャイルエンジニア認定アソシエーション」を設立

～国内企業 13 社と一般社団法人が参画、日本のソフトウェア開発力強化へ～

2025 年 9 月 1 日

アジャイルエンジニア認定アソシエーション

国内の主要企業 13 社と一般社団法人アドバンスト・ビジネス創造協会は共同で、「アジャイルエンジニア認定アソシエーション」（以下、認定アソシエーション）を、2025 年 3 月 14 日に設立いたしました。

認定アソシエーションは、近年ますます重要性を増すアジャイル開発（注）技術において、確かな実務開発能力を備えたエンジニアを認定する制度を確立し、日本のソフトウェア開発力の向上に貢献することを目的としています。

背景

ソフトウェア開発におけるアジャイル開発の普及は目覚ましいものがありますが、その一方で、実践的なスキルを持つエンジニアの評価基準が明確でないという課題が存在します。知識ベースの資格試験や海外の認定資格はあるものの、日本の現場に即したスキルを評価する仕組みが不足しているのが現状です。

このような状況に対し、エンジニアからは「アジャイル開発スキルが正当に評価されない」という声があり、企業からは「スキル不足のエンジニアがチームに混在し、教育コストが増加する」という課題が指摘されていました。

これらの課題を解決するため、国内企業 13 社と一般社団法人が連携し、アジャイル開発の実践力を評価する認定アソシエーションを設立する運びとなりました。

今後の展望

認定アソシエーションは今後、参画企業のアジャイル開発有識者の協力を得て、日本独自のスキル認定制度を構築してまいります。制度の整備後には、実際のスキル認定を開始する予定です。

また、アジャイル開発に精通するソフトウェアベンダーや SIer など、幅広い企業・団体に参画を呼びかけ、公的なスキル認定運営組織としての確立を目指します。

賛同メッセージ

「日本経済の停滞が続く中、新技術の活用が遅れていることが大きな要因の一つと考えら

れます。アジャイル開発は既に一般的な技術となりましたが、その利点を最大限に活かすには、確かな実務能力を持つ技術者の存在が不可欠です。

今回、その第一歩として、技術者の実務能力を評価し認定するコンソーシアムが発足したことは、アジャイル開発チームだけでなく、技術者本人にとっても自身の能力に見合った評価を得て活躍できるという点で非常に意義深いものです。

今後、この認定制度が広く活用され、日本企業の復活発展に繋がることを心から願っています。」

一般社団法人アドバンスト・ビジネス創造協会 会長 鶴保 征城氏

認定アソシエーションの構成

〔参画企業・団体〕

- 株式会社関電システムズ
- グラビティ株式会社
- 株式会社サートプロ
- 株式会社シーエーシー
- 住友電気情報システム株式会社
- 株式会社スプライト
- ソフトバンク株式会社
- 大日本印刷株式会社
- 株式会社テクノロジックアート
- 株式会社パソナ
- 株式会社パラミックス
- 株式会社 Muture
- 株式会社 YSK e-com
- 一般社団法人アドバンスト・ビジネス創造協会（ABC 協会）

〔理事〕

- 会長：長瀬嘉秀（株式会社テクノロジックアート）
- 副会長：笠原邦彦（大日本印刷株式会社）
- 副会長：矢野平卓（ソフトバンク株式会社）
- 監事：山田裕美（一般社団法人アドバンスト・ビジネス創造協会）
- 理事：参画企業より 1 社 1 名

※五十音順、敬称略

（注）アジャイル開発について

アジャイル開発とは、変化への迅速な対応を重視するソフトウェア開発手法の総称です。
具体的な手法としては、「XP（eXtreme Programming）」や「スクラム」などが広く用いられています。

お問い合わせ

アジャイルエンジニア認定アソシエーション事務局窓口

一般社団法人アドバンスト・ビジネス創造協会

TEL: 03-3501-1491

お問い合わせは、メール（takizawa@abc-a.jp）にてお願いいたします。